

令和7年度

強度行動障害支援者
養成研修(基礎研修)

指導者研修

－オンライン研修－

この研修は、都道府県地域生活支援事業で実施する強度行動障害支援者養成研修
(基礎研修) の企画・開催・運営を担う人を養成するための研修です。

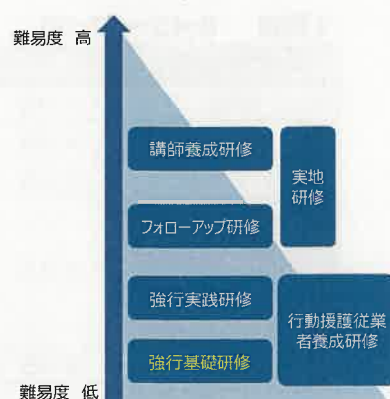
開催日 1回目 : 令和7年6月30日(月) - 7月 1日(火)
2回目 : 令和7年7月14日(月) - 7月15日(火)
主 催 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修（指導者研修）） －オンライン研修の詳細－

開催日	1回目：令和7年6月30日（月） - 7月 1日（火） 2回目：令和7年7月14日（月） - 7月15日（火） ※全ての回とも同じ内容のものになります。
内 容	基礎研修プログラム、および都道府県研修の企画・運営に関する情報の提供
対 象 者	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）の企画・運営を担う予定の者で、 都道府県が推薦する者
募集人数	各都道府県から2名（各回1名となります） ※オブザーバー（研修企画に関わる方）での参加については要相談になります。オブザーバーには、修了書の交付はいたしません。
参加費	10,000円 ※「払込取扱票」をお送りしますので、 <u>5月20日（火）</u> までに参加費の払込をお願いします。
申込方法	推薦者を都道府県でお取りまとめいただき、国立重度知的障害者総合施設のぞみの園ホームページから申込書（Excel ファイル）をダウンロードし、申込案内に従い記入した申込書を下記のメールアドレスまで添付して送信してください。
申込期日	令和7年4月24日（木）17時00分まで （申込期日を過ぎたものは受け付けできません）
受講環境について	Zoomを使用してのオンライン研修となります。演習では、グループに分かれ、ワークシートの画面共有や文字入力などの作業がありますので、パソコンでの受講をお願いします。その他、詳細につきましては、別紙をご確認ください。
修了証について	令和7年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修（指導者研修））を修了するためには、2日間の講義・演習のすべてを受講するものとします。ただし、受講者側に起因するトラブルへの対処している時間が15分以上あったり、受講態度が著しく不良であったりする場合は、修了証を交付いたしません。※修了証は後日、発送いたします。
お問合先	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町2120番地2 TEL：027-320-1357 E-mail：nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp 総務企画局事業企画部研修・養成課 担当：槻岡（つきおか）・長井

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）とは

- ・強度行動障害が現れている人たちに対して、適切な支援を行う職員の育成を行うことを目的に、平成25年度より始まった研修です。
- ・基礎研修は、強度行動障害が現れやすいとされる自閉症の方の障害特性や、有効な支援について学ぶことを目的としています。
- ・受講の対象は、下記の通りです。
 - ◆施設系・居住系・訪問系等すべての障害福祉サービス事業所の全職員
 - ◆障害福祉サービス事業所等の連携機関において治療にあたる医療従事者（令和2年5月の「強度行動障害支援者養成研修事業の実施について（運営要領）」の一部改正により上記下線部分が拡大。）



国立のぞみの園が開催する「指導者研修」とは

強度行動障害支援者養成研修（指導者研修）

開催：国立のぞみの園

受講者：都道府県研修の企画・運営を担う者

強度行動障害支援者養成研修

開催：都道府県（委託・指定含む）

受講者：原則、県内の障害福祉サービス事業所

- ・指導者研修は、厚生労働省が示している強度行動障害者支援者養成研修のカリキュラムに準じ行います。

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）プログラム

下記の表は、令和2年5月に改正されたカリキュラムの時間数と内容、研修プログラムのつながりを記したものです。なお、研修プログラムはストーリー性を重視し、講義・演習を織り交ぜながら構成しました。詳細は裏面をご覧ください。

基礎研修カリキュラム		時間数	改正後のカリキュラムに則ったプログラム内容	裏面 対応箇所
講義	強度行動障害がある者の基本的理解	1.5h	・強度行動障害の理解 －支援の基本的考え方 －強度行動障害の状態 －行動障害が起きる理由 －障害特性の理解	講義 1 講義 1 講義 1 講義 2
	強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	5.0h	・研修の意義 －行動障害と虐待防止 －家族の気持ち ・支援のアイデア －障害特性に基づいた支援 ・チームプレイの基本 －チームプレイの必要性 ・実践報告 －児童期及び成人期における支援の実際	講義 5 講義 7 講義 3 講義 4 講義 6
演習	基本的な情報収集と記録等の共有	1.0h	・基本的な情報収集 －行動を見る視点	演習 2
	行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	3.0h	・チームプレイの基本 －支援手順書に基づく支援の体験 ・強度行動障害の理解 －困っていることの体験	演習 4 演習 1
	行動障害の背景にある特性の理解	1.5h	・特性の分析 －特性の把握と適切な対応	演習 3
合計時間		12.0h		

研修プログラム

1日目 8:45～17:00

プログラムNo	時間		科目	
受付	8:45	※受信状況の確認等を行います		
開会	9:00			
プログラム0	9:05	(10)		研修のねらい
プログラム1	9:15	30	講義1	強度行動障害の理解 ・支援の基本的考え方 ・強度行動障害の状態 ・行動障害が起きる理由
休憩	9:45	(10)		
プログラム2	9:55	60	講義2	強度行動障害の理解 ・障害特性の理解
休憩	10:55	(10)		
プログラム3	11:05	120	演習 1	強度行動障害の理解 ・困っていることの体験
昼休憩	13:05	(60)		
プログラム4	14:05	90	講義3	支援のアイデア ・障害特性に基づいた支援
休憩	15:35	(15)		
プログラム5	15:50	60	演習2	基本的な情報収集 ・行動を見る視点
プログラム0	16:50	(10)		事務連絡等

2日目 8:45～16:55

プログラムNo	時間		科目	
受付	8:45	※受信状況の確認等を行います		
プログラム6	9:00	90	演習3	特性の分析 ・特性の把握と適切な対応
休憩	10:30	(15)		
プログラム7	10:45	60	講義4	チームプレイの基本 ・チームプレイの必要性
休憩	11:45	(10)		
プログラム8	11:55	60	演習4	チームプレイの基本 ・支援手順書に基づく支援の体験
昼休憩	12:55	(60)	グループ交流会	
プログラム9	13:55	60	講義5	研修の意義 ・行動障害と虐待防止
休憩	14:55	(10)		
プログラム10	15:05	60	講義6	実践報告 ・児童期及び成人期における支援の実際
休憩	16:05	(10)		
プログラム11	16:15	30	講義7	研修の意義 ・家族の気持ち
閉会	16:45	(10)		閉会 事務連絡
プログラム0	17:00	(20)	任意参加	質疑応答 交流会

※オンライン研修の特性上、機材トラブル等により予定終了時間が延長になる場合がありますので、時間に余裕をもって受講してください。

※当日のプログラム・時間等は変更になる場合があります。

申込後の流れについて

- ◆都道府県担当者へ受講決定通知、受講者へ受講案内を郵送します。
- ◆受講者へ事務連絡をメールにてお知らせします。メールでのご連絡となりますので、メールアドレス入力の際にはお間違えのないようにご注意ください。
 - ※ メールが届かない場合は、都道府県担当者にご確認させていただきます。
- ◆都道府県担当者または個人宛に参加費の「払込取扱票」をお送りします。
 - ※ 申込書にご記入していただいた先にお送りします。
- ◆郵便局にて払込をお願いします。払込後、窓口であれば「振替払込請求書兼受領証」をお受け取りください。ATMであれば「ご利用明細票」をお受け取り下さい。請求書、領収書の発行は行っておりませんので、払込時受領証、又は明細票をもって、領収証とさせていただきます。
 - ※ 払込手数料は、払込される方のご負担となります。